糸ってこんなに素晴らしい

MIYAMA
WEB STUDY
1

MIYAMA CO.,LTD.

第1話　**はじめに**

みなさん、初めまして。「**できるだけ、糸を簡単に、楽しく学んでもらおう**」がテーマの糸の簡単、取扱説明書。
「**糸ってこんなに素晴らしい**」です。みなさま、どうか末永くご愛顧くださいませ。

1,

糸は、いろいろなシーンで使用されています。セーターや靴下や水着やタオルは、いろいろな機械で編まれています。他にもいろいろありますが、大きく５つに分かりやすくわけてみました。そのシチュエーションによって、使う商品を選びます。

- **a, 丸編み ジャージ**　Tシャツなどに使われている編み方です
  → 大きな機械で大きな円を描くように編みたてる機械です。
- **b, 靴下編み**　靴下やレッグウォーマなどを作る編み方です。
  → 小さな機械で小さな円を描くように編みたてる機械です。
- **c, 横編み**　セーターなどに使われている編み方です。
  → 横に流れていく機械で編み目を作って編みたてる機械です。
- **d, 織物**　コートなどに使われている織り方です。
  → 鶴の恩返しでパッタンパッタンしていた機械です。
- **e, 手芸**　手編みのセーターなどに使われている編み方です。
  → 棒張りや鉤針などで、自分で手軽に編みたてできます。

2,

- **a, 糸の内容（どんな中身なのか？）をあらわす 混率**
- **b, 糸の太さ（どんな太さなのか？）をあらわす 番手**
- **c, 糸の形状（どんな見た目の糸なのか？）をあらわす 形状**

では、実際に糸を選ぶときに、無限に広がる選択肢の中どうやって糸を選べばいいのか？というヒントになるのが、「糸の構成要素」です。大きく分けて３つ。この３点をおさえておけば大体、糸としての性能はわかります。

まずは、「どんな時期にどんな目的で使うのかを考えて混率を調べ」て、
「自分が欲しい糸の太さを探し」て、「どんな形の糸を探す」か考えるのです。

"太さの番手"などは問題ないでしょうが、混率や形状は違います。とくに混率についてはコーヒー豆などと同じで、
その種類と性能の多様さや、ブレンドなどによる特徴のミックス化によってさまざまな効果がでてきます。

Step1　まずは、混率からはじめることにしましょう。

Step2　番手についてもしっかり説明します。
そして、そもそも自分の使いたい工業用の編み立て機械にはどれくらいの太さの糸が使用できるのか？
もちろんそういったことにも触れながら説明していきたいと思います。

Step3　形状は撚糸の仕方などにより、多種多様ありますが、代表的な形を覚えておけばある程度の応用が利きやすいので、
ぜひ今後糸をごらんいただける際の参考になればと思います。

「**自分の欲しい商品をできるだけ的確に探すことや、伝えること**」ができれば、
時間の短縮や顧客へ提供できる価値観を増やせると思います。
あくまでここは楽しく学ぶ場、あまり難しい内容は極力避けたいと思います。
入り口は簡単に、出口では別人に。自分のやっていることへの理解度が上がれば、仕事が楽しくなるかもしれません。
ではみなさん、これからもがんばりましょう。